

令和5年度入学 盛岡短期大部 一般選抜 生活科学科 試験問題の出典

種別	大問番号	著者名	著作物名	書名等	版元
小論文	生活デザイン	新渡戸稲造 竹内 均 編	自分をもっと深く掘れ!	2004年 P101・105-106より 一部改変	三笠書房
	食物栄養学	安武信吾・ 千恵・はな	はなちゃんのみそ汁	2012年 P196-199より 一部改変	文藝春秋

令和5年度 一般選抜

短期大学部

小論文 (90分)

学科・専攻名	ページ
生活科学科 生活デザイン専攻	1～2
生活科学科 食物栄養学専攻	3～4
国際文化学科	5～8

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 志望する学科・専攻により問題並びに解答用紙が異なるので注意ください。
- 3 この問題冊子は8ページあります。なお、下書き用紙が2枚あります。
- 4 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督員に知らせください。
- 5 解答は、必ず黒鉛筆(シャープペンシルも可)で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 6 解答用紙(各学科・専攻別)には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入ください。
- 7 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入ください。
- 8 下書きの必要があれば、下書き用紙を利用してかまいません。
- 9 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りください。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

この部分の問題は、著作権の関係により公開できません。

(新渡戸稲造著、竹内均編『自分をもっと深く掘れ!』, 三笠書房, 2004年, pp.101・105-106より, 一部改変)

注 団体：作者は前節で「団体(組織・集団)」と補足している。

問 1 団体の中で互いに譲りあったり妥協する場合には、どのような心がけが大切であると作者は述べているか。90字以内で説明せよ。

問 2 問 1 で述べた心がけについて、あなたはどのように考えるか。集団生活の中でのあなたの経験を踏まえて 700 字以内で述べなさい。例としてあげる集団は、家族や友人グループのような身近なものでも、学校や国家など公的なものでもよい。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

千恵へ

千恵、誕生日おめでとう。

2012年1月28日で37歳だね。千恵と初めて会ったときのぼくが34歳。千恵は23歳だった。まだ、福岡教育大の大学院に通っていた。

あれから14年たったのか。

早いなあ。

津屋崎のイタリア料理店「エンゾ」で、千恵の就職祝いをしたよね。

シェフのお父さんがやっている窯場で、記念の湯のみ茶碗を一緒に作った。

ぼくは茶碗に「心の教育」って書いた。

千恵はタンポポの絵を描いた。

アスファルトの裂け目から生えることもある、生命力の強いタンポポ。千恵らしい絵だった。

8年間の闘病、よくがんばったね。

素敵な出会いもいっぱいあった。

みんなに支えてもらった。

ぼくは今も支えてもらっている。

千恵に、いちばん、感謝しなければいけないのは、はなを産んでくれたこと。命がけの出産だった。

はながいなかったら、ぼくは今頃、どうなっていたか分からない。

はなは、千恵。千恵は、はな。

いま、ぼくは、はなのために生きることができる。

はなはもうすぐ、小学校4年生。

ぼくにこんなことを言うんだ。

「はなは結婚しないよ。ずっとパパと一緒に。

はながもうちょっと大きくなったら、一緒にカフェをやろうよ。

みそ汁の美味しいカフェ。はなが作るよ。コンサートもできるカフェ。

店の名前は……うーん、そうやねえ、『おとや』がいいなあ」

天国から見ていてね。麴カフェ「おとや」。いい屋号[※]だと思わない？

(中略)

はなは毎朝6時に起きて、みそ汁をつくっている。

「ご飯とみそ汁は元気をくれるって、ママが言ったんだよ。ママと指切りげんまんしたから、はな、毎日作るよ」。ときどき、さぼることもあるけど、よくがんばっている。

はなは、みそ汁の湯気とにおいの中に、千恵を感じ続けているんだと思う。

以前、テレビ局から取材を受けた。

「はなちゃんは、どうして、おみそ汁を作っているの？」

はなはこう答えていた。

「お母さんとお父さんが笑ってくれるから」

子どもは親の笑顔を見るのが一番うれしくて、幸せなんだよね。

はなは切り替えが早い。これは才能だね。ぼくが人事異動で職場環境が大きく変わることになったとき、はなは「なんとかなる」と言い切った。千恵の座右の銘だったね。

千恵は、ぼくたちに手紙の類は何も遺さなかったけど、みそ汁づくりなど日々の暮らしを通して「どう生きるか」を遺してくれた。千恵がどんなまなざしで家族を、友人を、病を、社会を見ていたのかが分かる「言葉」もブログに遺してくれた。

ありがとう、千恵。

はなと二人、食卓で、千恵と暮らした思い出を話しながら、いつも大笑いしている。だから心配しないで。もう、大丈夫。

(中 略)

2012年1月28日

安武信吾

(安武信吾・千恵・はな『はなちゃんのみそ汁』、文藝春秋、2012年、pp.196-199より、一部改変)

注 屋号：商店につけた商業上の呼び名。店名。

問 1 はなにとって「みそ汁づくり」とは何か。課題文の内容に即して、50字以上70字以内で説明しなさい。

問 2 課題文は、家庭における子どもの食体験について述べられている。これについて、あなたがこれまで経験した食体験を交え、家庭における子どもの食体験の必要性の有無についてあなたの考えを750字以内で述べなさい。